

演劇・映画の専門図書館

公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 244(2018年7月) ■

平成 30 年 7 月 10 日発行

松竹大谷図書館 開館 60 周年のご挨拶

公益財団法人松竹大谷図書館は本年 7 月 1 日に開館 60 周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援とご協力の賜物と心から感謝いたしております。

当館は、松竹株式会社の創業者の一人・大谷竹次郎が昭和 30 年に文化勲章を受章したのを記念して、昭和 31 年 12 月 26 日に設立、昭和 33 年に開館した、演劇と映画の専門図書館です。長年にわたり演劇・映画の事業にたずさわってきた松竹株式会社が収集・所蔵してきた資料を広く一般に公開し、研究者や愛好家の利用に供して、芸術文化の振興と社会文化の発展に寄与することを目的として設立されました。平成 23 年 6 月には、公益財団法人として認定を受け、より一層の関係資料の収集・整備をはかり、利用される方たちへのサービスに努めております。

このたび開館 60 周年を迎えることができましたのは、多くの皆様のご協力とお力添えのおかげと深く感謝しております。

これを機にスタッフ一同決意を新たに、いま一度開館時の精神に立ちかえり、一層の努力をして皆様のご愛顧にお応えしていく所存でございます。

今後とも、なにとぞご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



(写真：開館式で書庫開きの鉄入を行う大谷竹次郎)

中央区まちかど展示館「夏休みスタンプラリー」開催中です！



昨年夏から当館に常設している「中央区まちかど展示館」のオリジナルスタンプですが、今年も、専用のシートでエリア毎に決まった数のスタンプを計4個以上集めて応募すると、抽選で景品が当たる「夏休みスタンプラリー」が、7月1日から始まりました！

各館のスタンプは、それぞれの展示館の特徴を活かしたとても素敵なデザインですので、ぜひこの機に集めてみてください。当館は図書館らしくカードボックスの前に映画『男はつらいよ』と歌舞伎『義経千本桜』の台本が描かれたスタンプとなっています。

ラリーシートは各館で配布しています。また、まちかど展示館の Web ページからもダウンロードができます。

(<http://chuoku-machikadoten.jikan.jp/pdf/stamprally.pdf>)

【夏休み限定企画】中央区まちかど展示館『夏休みスタンプラリー』

2018年7月1日(日)～2018年8月31日(金)

http://chuoku-machikadoten.jikan.jp/stamprally_summer.html

※各館でそれぞれ夏休みや休館日がありますので、ご注意下さい。

また、こちらのスタンプは通年設置しております。夏休み以外でも『中央区まちかど展示館』の季刊誌やパンフレットにラリーシートが掲載されておりますので、お近くにお越しの際はぜひ通年のスタンプラリーもお楽しみください。

通年設置のスタンプラリーについて詳しくはこちら→<http://chuoku-machikadoten.jikan.jp/stampsheet.html>



≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 6月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『妹背山婦女庭訓 三笠山御殿』	○			
	『六歌仙容彩 文屋』	○			
	『酔菩提悟道野晒 野晒悟助』	○		○	○
	『夏祭浪花鑑』	○			
	『巷談宵宮雨』	○			
新橋演舞場	熱海五郎一座『船上のカナリアは陽気な不協和音』			○	○
三越劇場（日本橋）	『黒蜥蜴 全美版』			○	○
まつもと市民芸術館	『切られの与三』	○		○	
松竹座（大阪）	『音楽劇 マリウス』			○	
御園座	『滝沢歌舞伎2018』	○		○	○
博多座	『慙紅葉汗顔見勢 伊達の十役』	○			
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『松本幸四郎改め二代目松本白鸚・市川染五郎改め十代目松本幸四郎襲名披露口上』			○	○
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○			
	『新歌舞伎十八番の内 春興鏡獅子』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

アトリエヘリコプター	5月	五反田団『うん、さようなら』プログラム
吉祥寺シアター	6月	青年団『日本文学盛衰史』プログラム、台本
紀伊國屋サザンシアター	5月	文学座『怪談牡丹燈籠』プログラム、台本
	6月	劇団民藝『ペーパームーン』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	5月	青年劇場『分岐点』プログラム、台本
国立劇場小劇場	5月	『文楽公演』プログラム、床本
国立劇場大劇場	5月	舞踊公演『変化舞踊』プログラム
	6月	歌舞伎鑑賞教室『連獅子』プログラム
座・高円寺1	6月	あやめ十八番『ゲイシャパラソル』プログラム
下北沢小劇場楽園	5月	花組芝居『婦系図』台本
すみだパークスタジオ	5月	劇団棧敷童子『翼の卵』プログラム
帝国劇場	5月	『ミュージカル モーツァルト!』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	5月	イキウメ『図書館的人生Vol. 4 襲ってくるもの』プログラム
	6月	モダンスイマーズ『悲しみよ、消えないでくれ』プログラム
日生劇場	5月	『シラノ・ド・ベルジュラック』プログラム
俳優座稽古場	5月	劇団俳優座『首のないカマキリ』プログラム、台本
文学座アトリエ	5月	文学座『死者恋／[カイ] 淡木幡小平次』プログラム
本多劇場	5月	M&O P l a y s プロデュース『市ヶ尾の坂』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2018年 JULY, AUGUST	『演劇界』2018年8月号
『Confettiかわら本』2018年7月号	『喝采』2018年9月, 11月特別号
『FABULOUS STAGE』Vol. 1, 2	『芸劇BUZZ』2018年7月-8月-9月号
『Misonoza Theatre Library News letter』Vol. 1, 3	『御園座演劇図書館News letter』Vol. 3
『TICKETS GO! GO!』Vol. 80, 81	『国立演芸場公演ガイド』平成30年7月号
『the座』2018年96号	『大向う』平成30年7月号
『あぜくら』2018年6月号	『伝統文化新聞』145号
『ほうおう』2018年8月号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年7月号
『シアターガイド』2018年7月号, 8月号	『日本照明家協会誌』2018年6月号
『テアトロ』2018年7月号	『日本舞踊』70巻7月号
『ラ・アルプ』2018年7月号	『悲劇喜劇』2018年7月号
	『邦楽の友』平成30年7月号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2018年8月号	『シナリオ教室』2018年7月号
『NFAJプログラム』No. 4	『ドラマ』2018年7月号
『NHKウイークリー ステラ』平成30年6/15号	『ピクトアップ』2018年8月号
『SCREEN』2018年8月号	『ムービー・スター』2018年8月号
『TVガイド』2018年6/8号, 6/15号, 6/22号, 6/29号	『映画テレビ技術』2018年7月号
『WORLD CINEMA』(1)	『映画時報』2018年5月号
『おとなのデジタルTVナビ』2018年7月号, 8月号	『映画秘宝』2018年8月号
『キネマ旬報』2018年4月30日増刊「松坂桃李」, 増刊キネマ旬報 NEXT Vol. 20, 7月上旬号, 7月下旬特別号	『衛星劇場プログラムガイド』2018年7月号
『シナリオ』2018年8月号	『月刊ドロキ・ユキコ』38号
	『日経エンタテインメント!』2018年7月号
	『文化通信ジャーナル』2018年7月号

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『曇天に笑う 外伝 宿命、双頭の風魔』	○				
『シネマ歌舞伎 東海道中膝栗毛 歌舞伎座捕物帖』	○		○		
『空飛ぶタイヤ』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|----------------------------|------------------------|------------------|
| 『Vision ビジョン』 | 『フジコ・ヘミングの時間』 | 『キスできる餃子』 |
| 『ニンジャバットマン』 | 『猫は抱くもの』 | 『恋は雨上がりのように』 |
| 『モリーズ・ゲーム』 | 『アイ, トーニャ 史上最大のスキャンダル』 | |
| 『ボストン ストロング ダメな僕だから英雄になれた』 | | 『ホース・ソルジャー』 |
| 『ラブ×ドック』 | 『のみとり侍』 | 『サバービコン 仮面を被った街』 |
| 『ラブラスの魔女』 | 『となりの怪物くん』 | 『ピーターラビット』 |
| 『アベンジャーズ インフィニティ・ウォー』 | | 『ゲティ家の身代金』 |
| 『レディ・バード』 | 『友罪』 | 『ファントム・スレッド』 |
| 『50回目のファーストキス』 | 『OVER DRIVE』 | 『万引き家族』 |
| 『デッドプール2』 | 『30年後の同窓会』 | 『羊と鋼の森』 |
| 『GODZILLA 決戦機動増殖都市』 | | |

»» 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- | | | |
|---|---|-------------|
| 『はじまりのみち』 | 丸尾みほ (著)、原恵一 (原案) | リンダパブリッシャーズ |
| 『小説 の・ようなもの のようなもの』 | 會田望 (著)、森田芳光 (原案)、堀口正樹 (脚本) | KADOKAWA |
| 『RANMARU 神の舌を持つ男 酒蔵若旦那怪死事件の影に潜むテキサス男とボヘミアン女将、そして美人村医者を追いつめる謎のかごめかごめ老婆軍団と三賢者の村の呪いに2サスマニア with ミヤケンとゴッドタン、ベロンチョアドベンチャー! 略して…蘭丸は二度死ぬ。鬼灯デスロード編』 | 櫻井武晴 (脚本)、豊田美加 (ノベライズ) | KADOKAWA |
| 『超高速! 参勤交代 映画ノベライズ』 | 土橋章宏 (脚本)、時海結以 (文) | 講談社 |
| 『小説 映画 ピーチガール』 | 松田朱夏 (著)、上田美和 (原作)、山岡潤平 (脚本) | 講談社 |
| 『家族はつらいよ』 | 小路幸也 (作)、山田洋次+平松恵美子 (原案) | 講談社 |
| 『竹内道敬文庫錦絵図録目録』 | 国立音楽大学附属図書館+立命館大学アート・リサーチセンター (編)、竹内道敬 (監修) | 国立音楽大学 |
| 『酒呑童子出生記』 | 鳥越文蔵+内山美樹子 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『安倍宗任松浦 [キヌガサ]』 | 鳥越文蔵+内山美樹子 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『赤松円心緑陣幕』 | 鳥越文蔵+内山美樹子 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『莠伶人吾妻雛形』 | 鳥越文蔵+内山美樹子 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『眉間尺象貢』 | 鳥越文蔵+内山美樹子 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『いろは日蓮記』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『石橋山鎧襲』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『百合稚高麗軍記』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『花衣いろは縁起』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『田村磨鈴鹿合戦』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『丹生山田青海剣』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |
| 『釜淵双級巴』 | 鳥越文蔵 (監修)、義太夫節正本刊行会 (編) | 玉川大学出版部 |

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2018年4月～5月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、劇団民藝、東京都江戸東京博物館、早稲田大学演劇博物館、日本劇作家協会、日本劇団協議会、帝国劇場、新歌舞伎座、有限会社合同通信社、国立歴史民俗博物館、公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団、(株)近代映画社、株式会社日本舞踊社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、博多座、劇団四季、日本映画テレビ技術協会、国立劇場、関西・歌舞伎を愛する会、無声映画鑑賞会、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、キネマ旬報社、演劇出版社、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、世田谷文学館、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、渡邊三希子、一般社団法人日本民間放送連盟、ファーンウッド、デアゴスティーニ・ジャパン、人形劇団プーク、株式会社東急文化村、株式会社アサツキ・ディー・ケイ、シアタークリエ、日本ウニマ（国際人形劇連盟）、公益社団法人日本照明家協会、歌舞伎学会、アンドレ・バザン研究会、若林さだ吉、国立映画アーカイブ、ロングランプランニング株式会社、伝統文化新聞、四季株式会社、御園座演劇図書館、劇団ワンツーワークス、株式会社カモミール社テアトロ編集部、神戸女子大学古典芸能研究センター、美学出版、常磐津節保存会、アーティストジャパン、早稲田大学演劇映像学会、安孫子正、東宝株式会社、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、産経新聞出版、早稲田大学映画学研究会、銀座百店会、おもだか会、玉川大学教育博物館、調布市武者小路実篤記念館、公益社団法人 国際演劇協会、佐藤美千子、東京芸術座、銀座 博品館劇場、邦楽の友社、こまつ座、劇団青年座、前進座、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、新国立劇場情報センター、鎮目悠三、明治座、(株)CLIE、KAAT神奈川芸術劇場、梅田芸術劇場、下野公久、岩波ホール、シーエイティブロデュース、尾上松也、音楽座ミュージカル、日本近代文学館、(株)キューブ、日本映画撮影監督協会、劇団俳優座、国文学研究資料館、御園座

どうもありがとうございました

■ 築地松竹ビル防災訓練 ■

平成 30 年 6 月 27 日 9 時 30 分より

6月27日(水)午前9時30分東京湾を震源とする震度7の地震発生。震源の深さは50キロ、マグニチュードは7.1。津波の発生は無し。この地震による電気配線ショートにより28階建てビルの7階給湯室より出火。以上の想定で銀座松竹スクエア(築地松竹ビル)避難訓練が行われ、松竹大谷図書館からは武藤と伊藤の2名が参加した。防災ヘルメットを着用、非常持出袋を背負って、館内放送の誘導に従い非常用B階段を使用、松竹大谷図書館のある3階から1階へ避難、1階ホールに設置された自衛消防隊本部に「松竹大谷図書館 2名避難完了しました」と報告した。予定されていた「煙ハウス体験」は強風のため中止となり(残念!)避難完了後、築地消防署署長より講評、その後希望者対象の消火器訓練となった。訓練参加者182名。前年第2回目より増加したようだ。

「消火、通報、避難」について築地消防署署長よりのお話。

(1) 消火 一人で消そうとせず、大声で周囲に知らせ、人を多く集めて消火にあたる。

(2) 通報 意外と知らないことだが、119番電話は近所の消防署にかかるわけではない。大手町の災害救急情報センターにつながり、そこから現地の消防署へ連絡される。したがって火災の場所は「蕎麦屋の隣り」と言っても伝わらないので「〇〇区〇〇町〇〇番地〇〇マンション〇〇号室」など住所、建物名を伝えること。

(3) 避難 「やばい！」で逃げるのでは既に手遅れ、「おかしいな」の時点で避難を開始しないと間に合わない。出来そうで出来ないのが避難。行動としては「階段を下りるだけ」の簡単なことがなぜ出来ないか？避難行動の妨げになる2つの心理がある。

その1「正常性バイアス」ちょっと変だけど、でも大丈夫だよ、と思い込もうとする心理。

その2「多数派同調バイアス」自分以外に大勢の人がいると、取りあえず周りに合わせようとする心理。

この心理は無くなることはない。対策は？訓練しかない。

大変分かりやすいお話で「なるほど」と思うことも多くあり「今後も緊張感をもって訓練に臨もう」と肝に銘じた。

日常的に自分で出来ることとしては、自分がいつもいる場所(会社、学校、自宅、自室、よく行く店など)、毎日利用する交通機関、毎日歩く道。ここで何か起こったらどうするか？どちらへ向かって動こうかな？と時々イメージしてみるだけでも、防災減災につながるかもしれないと思う。それにしてもヘルメットって暑いですね。



第71回展示 「松竹新喜劇 -劇団創立70周年記念-」展

展示期間：2018年6月29日～8月14日／於 閲覧室

本年、松竹新喜劇は劇団創立70周年を迎えます。日本の喜劇は、明治37[1904]年2月に道頓堀の浪花座で誕生した、曾我廼家五郎・十郎の「曾我廼家兄弟劇」が祖とされており、松竹新喜劇はその流れを汲んだ劇団です。昭和23[1948]年11月、曾我廼家五郎の逝去後、残された曾我廼家五郎一座(曾我廼家大磯、秀蝶、小次郎、明蝶、五郎八)と、松竹家庭劇(曾我廼家十吾)、劇団すいと・ほーむ(二代目渋谷天外、浪花千栄子、石河薫、藤山寛美)が合流して結成されたのが松竹新喜劇で、初興行は昭和23年12月の道頓堀中座で行われました。

松竹新喜劇は、俳優自らが台本を執筆して演出した作品がレパートリーのほとんどを占めており、二代目渋谷天外は「館直志」、曾我廼家十吾は「茂林寺文福」の筆名で数々の喜劇を生み出しました。また、座付き作者の平戸敬二による作品も数多く上演されています。昭和26[1951]年12月に上演された傑作喜劇『桂春団治』の丁稚役でその才能を開花させた藤山寛美の活躍は、松竹新喜劇の人気を大いに高め、お客様のリクエストで当日上演する演目を決定する「リクエスト狂言」や、24ヶ月連続無休で公演を打つなど、常に話題の的となりました。二代目渋谷天外が昭和58[1983]年3月18日に76歳で、藤山寛美も平成2[1990]年5月21日に60歳で逝去すると、平成3[1991]年3月に新生松竹新喜劇が中座にて旗揚げされ、二代目渋谷天外の次男、三代目渋谷天外(当時渋谷天笑)が劇団代表となりました。平成21[2009]年9・10月には、大阪松竹座での松竹新喜劇創立60周年記念公演を機に「新生」を外して再び「松竹新喜劇」となり、そして平成25[2013]年の藤山寛美の孫の藤山扇治郎の入団は注目を集め、創立70周年を迎える現在も、爆笑必至の喜劇や笑って泣ける人情喜劇など様々な笑いを観客に提供し続けています。

この歴史ある劇団の節目となる年を記念して、創立から現在までの様々な資料を、スチール写真を中心にご紹介いたします。

【展示資料一覧】

《展示ケース上段》

「松竹新喜劇十五周年記念アルバム」

●当時の劇団員たちが写っているアルバム写真。昭和38[1963]年1月南座で「劇団結成15周年記念公演 松竹新喜劇」が行われ、そのプログラムに折込頁で同じ写真が掲載されている

■スチール写真■

『愚兄愚弟』館直志作 昭和45[1970]年7・8月新橋演舞場

手前左より：魚商佐々木惣太郎(藤山寛美)、園芸商高橋(千葉蝶三朗)、魚商佐々木惣二郎(小島秀哉)

『えくぼ』茂林寺文福+館直志合作 昭和56[1981]年1月サンシャイン劇場

左より：福三の妻秋子(四条栄美)、勇一郎の妻羽奈子(大津十詩子=大津嶺子)、林勇一郎(藤山寛美)

『笑艶 桂春団治』長谷川幸延原作/館直志劇化+脚色/平戸敬二補綴+脚本 昭和57[1982]年7・8月新橋演舞場/手前より：俣夫力さん(曾我廼家文童)、桂春団治(藤山寛美)

『二階の奥さん』茂林寺文福作/高須文七脚色 昭和61[1986]年7・8月新橋演舞場

左より：会社員坂野(中川雅夫)、小山の妻加代(四条栄美)、照三の妻ユキ子(月城小夜子)、吾平の伴照三(小島慶四郎)、左官業小山吾平(八木五文楽)

『家宝で候』藤山寛美原案/平戸敬二脚本 昭和61[1986]年7・8月新橋演舞場

左より：吉野の山人足彦作(藤山寛美)、浪速屋の娘お梅(井上英以子=井上恵美子)

『色気斬 お伊勢帰り』香川登枝緒作/平戸敬二補綴 昭和63[1988]年7月新橋演舞場

左より：左官喜六(藤山寛美)、遊女お鹿(月城小夜子)

『偲ぶ面影 はなのお六』一堺魚人「出世の鼻」より/平戸敬二脚色 平成3[1991]年7月新橋演舞場「藤山寛美一周忌追善」●藤山寛美の娘、藤山直美が参加出演

左より：大和の百姓娘お六(藤山直美)、藩主有馬玄蕃頭(小島慶四郎)

『裏町の友情』茂林寺文福+館直志合作/米田亘補綴 平成3[1991]年7月新橋演舞場「藤山寛美一周忌追善」/左より：クリーニング主人倉橋貞一(曾我廼家文童)、貞一の弟新二(渋谷天笑=三代目渋谷天外)、吾平の娘妙子(川奈美弥生)、燃料店主人宇部吾平(高田次郎)

『銀のかんざし』館直志作 平成4[1992]年7月新橋演舞場「渋谷天笑改め三代目渋谷天外襲名披露」●三代目渋谷天外は二代目渋谷天外の次男。昭和52[1977]年松竹新喜劇入団後、休団を経て、平成3[1991]年の「新生松竹新喜劇」旗揚げに伴い劇団代表となる

左より：かつの夫清之助(三代目渋谷天外)、髪結い北原かつ(酒井光子)

『お祭り提灯』 館直志作/星四郎脚色/白能喜人潤色 平成 26[2014]年 7 月新橋演舞場「劇団創立六十五周年記念」●藤山扇治郎は藤山寛美の孫。平成 25[2013]年 11 月松竹新喜劇に入団
左より:金貸し山路屋幸兵衛(初代坂東彌十郎), 丁稚三太郎(藤山扇治郎), 提灯屋徳兵衛(三代目渋谷天外)

『先づ健康』 茂林寺文福作/米田亘補綴 平成 27[2015]年 9 月新橋演舞場
左より:万蔵の弟仙之助(曾我廼家八十吉), 万蔵の父松太郎(高田次郎), 桜湯店主万蔵(曾我廼家寛太郎)

《展示ケース下段》

「松竹新喜劇新結成公演」プログラム 昭和 23[1948]年 12 月中座

●11 月に結成された松竹新喜劇の初興行のプログラム

■スチール写真■

『奥さんに御用心』 館直志作/平戸敬二脚色 昭和 33[1958]年 1 月中座

左より:宣伝社々員中野(松本秀太郎), 宣伝社々員木村(戸山楽男), 友人三原良平(曾我廼家五郎八), 主人江島栄太郎(曾我廼家明蝶), 雪子の父杉浦宗助(千葉蝶三朗)、栄太郎の妻雪子(滝見すが子)

『恋愛教室』 斎藤良輔作/館直志脚色 昭和 33[1958]年 5 月中座

左より:兼六の妹娘夏子(宇治川美智子), 細川の息子良太(藤山寛美), 印判屋兼六(二代目渋谷天外), 小料理屋の女将時子(石河薫), 細川三平(曾我廼家五郎八), 三平の妻お豊(三条久栄)

『アットン婆さん』 茂林寺文福+館直志合作 昭和 45[1970]年 5 月南座

左より:三男三郎(藤山寛美), 片桐儀平(二代目渋谷天外), 老女中お初(曾我廼家十吾)

「口上申しあげまショー」 昭和 47[1972]年 7 月新橋演舞場 ●「松竹新喜劇創立 25 周年記念 館直志脚本作家 50 年記念公演」興行で踊・口上・劇団歌・花笠音頭などのショーを行う。写真は二代目渋谷天外、藤山寛美ほか男優全員で劇団歌を合唱している場面

「松竹新喜劇お客様お好みリクエスト上演」 昭和 47[1972]年 8・9 月新橋演舞場

●昭和 46[1971]年 4 月に中座で初めて実施した「リクエスト狂言」(当日お客様のリクエストにより上演する芝居を決定)を新橋演舞場でも上演。写真中央に藤山寛美が写る

「松竹新喜劇初春公演」プログラム 平成元[1989]年 1 月中座

●表紙に団員たちの顔写真が載ったデザインのプログラム

映画『親バカ子バカ』スチール写真 昭和 35 年[1960]年 9 月 11 日公開 監督:酒井欣也/脚色:森田竜男/原作:館直志 ●テレビ放映や舞台で人気を呼んだ喜劇の映画化作品/左より:宮田ゆき子(環三千世), 岩井(北上弥太郎), 天野貫一(藤山寛美), 北重役(曾我廼家明蝶), 天野利平(二代目渋谷天外), 堀内(伴淳三郎)

■図書■

『笑うとくはなれ』 二代目渋谷天外著 昭和 40[1965]年文藝春秋新社発行 ●二代目渋谷天外の初の著書

『わが喜劇』 二代目渋谷天外著 昭和 47[1972]年三一書房発行

『みち草 わき道 しぐれ道』 藤山寛美著 昭和 60[1985]年東京新聞出版局発行

『喜劇百年記念誌 喜劇百年 曾我廼家劇から松竹新喜劇』

新生松竹新喜劇文芸部+松竹関西演劇部編集/白井信彦監修 平成 16[2004]年松竹関西演劇部発行

▼松竹新喜劇の台本ご紹介▲
今回は台本の展示がありませんが、当館は松竹新喜劇の台本を数多く所蔵しております。右の写真は、所蔵する台本のごく一部で、他にも様々な作品の台本を所蔵しております。笑いあふれる舞台の一瞬が写ったスチール写真とともに台本も読んでみると、まるで新喜劇の舞台が目に見えてくるようです。ご興味のある方は、当館閲覧室カウンターでお尋ねくださいませ。



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2018（平成30）年6月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

大谷信義

どうもありがとうございます

■ 夏期特別整理休館のお知らせ ■

平成30年8月15日（水）より

8月28日（火）まで

資料整理のため休館いたします。

8月29日（水）より通常どおり

開館いたします。

※尚、30日は毎月最終木曜日のため休館となります

■ 編集後記 ■

▼巻頭で触れましたように、当館は7月1日に開館60周年を迎えました。この長い歳月の間に、3度の引っ越しを行い、スタッフも入れ替わり、所蔵資料の情報をカード目録で管理して帳簿に登録するという手作業からパソコンへ入力する図書管理システムへと変わるなど、色々と変化がありました。今後どのような変化が訪れるか、期待もあり不安もあり、というところですが、これからも利用者の皆様に興味を持っていただき、そして活用していただける図書館であるように、と思っております。写真は、昭和40年頃、資料の整理にあたるスタッフたちです。



● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

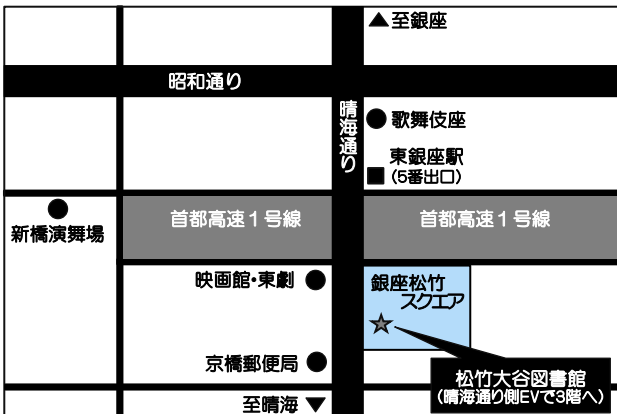
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694

公式HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>